



桂川電機株式会社

(登録銘柄コード番号 6416)

会社説明資料

平成22年3月期



KIP 7900
A0 プリンタ



KIP 9900
A0 プリンタ

当資料をご覧くださいにあたって

注1) 当資料は、会社説明を目的としてのみ作成されたもので、証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧くださいとうえで、投資家ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

注2) 本資料に掲載されている内容は、本資料作成日時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としており、将来の業績等は当社を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動など、様々な要因によって異なる結果と成り得るものでありますことをご承知おき下さい。

本説明資料の構成

この資料は次の事項により構成されています。

1. 第61期（H17.4～H18.3）～第65期（H21.4～H22.3）の業績経緯
2. 第65期（H21.4～H22.3）の概要
3. 会社概要

1. 過去業績データ (第61期～第65期)

平成18年3月期～平成22年3月期の当社業績の経緯は次のとおりです。

連 結

(単位:百万円)

期・年度 項 目	第61期 平成17年4月～平成18年3月	第62期 平成18年4月～平成19年3月	第63期 平成19年4月～平成20年3月	第64期 平成20年4月～平成21年3月	第65期 平成21年4月～平成22年3月
売上高	16,380	20,849	20,930	15,860	11,339
営業利益	1,722	2,620	2,635	1,183	-1,608
経常利益	2,039	3,001	2,428	1,094	-1,620
当期純利益	1,193	1,625	1,243	146	-1,677
総資産	22,024	24,328	23,836	21,627	19,615
純資産	17,180	18,682	19,446	17,919	16,225

単 体

(単位:百万円)

期・年度 項 目	第61期 平成17年4月～平成18年3月	第62期 平成18年4月～平成19年3月	第63期 平成19年4月～平成20年3月	第64期 平成20年4月～平成21年3月	第65期 平成21年4月～平成22年3月
売上高	10,745	13,967	13,224	9,834	5,627
営業利益	824	1,483	720	-530	-1,359
経常利益	1,077	1,708	380	-442	-1,454
当期純利益	516	804	184	-774	-1,517
総資産	19,511	20,134	19,498	16,784	15,488
純資産	15,342	15,928	15,825	14,757	13,127

2. 平成22年3月期の連結業績の概要

当社グループが関連する事務機器業界におきましては、景気低迷の影響で設備投資の抑制や、経費削減が進み、国内外の需要は、大幅に落ち込んでおります。このため大判型プリンタも、従来のモノクロ機から高速カラープリンタの販売に重点を置いて、新規顧客の開拓や、既存顧客への買替え需要の喚起を促し、需要の拡大に努めてまいりましたが、国内外とも総じて低調に推移いたしました。

このような状況下で当社は、大判型プリンタのカラー化、ネットワーク化、ソリューション化を行ない、製品の特長を生かした販売戦略を展開して、多様化する市場のニーズに対応してまいりました。また、今年度は販売体制の見直しを重点的に行ない、平成21年5月、フランス国内のエンドユーザーに対する直接販売を強化し、更に保守体制を充実させる目的で、Editions Solutions & Systemes SAを買収いたしました。また、国内では、平成21年8月に当社国内営業部と、販売子会社株式会社ケイアイピーの営業部門を統合して、製造と販売の一元化により、顧客の求める製品を迅速に供給できる販売体制を構築いたしました。

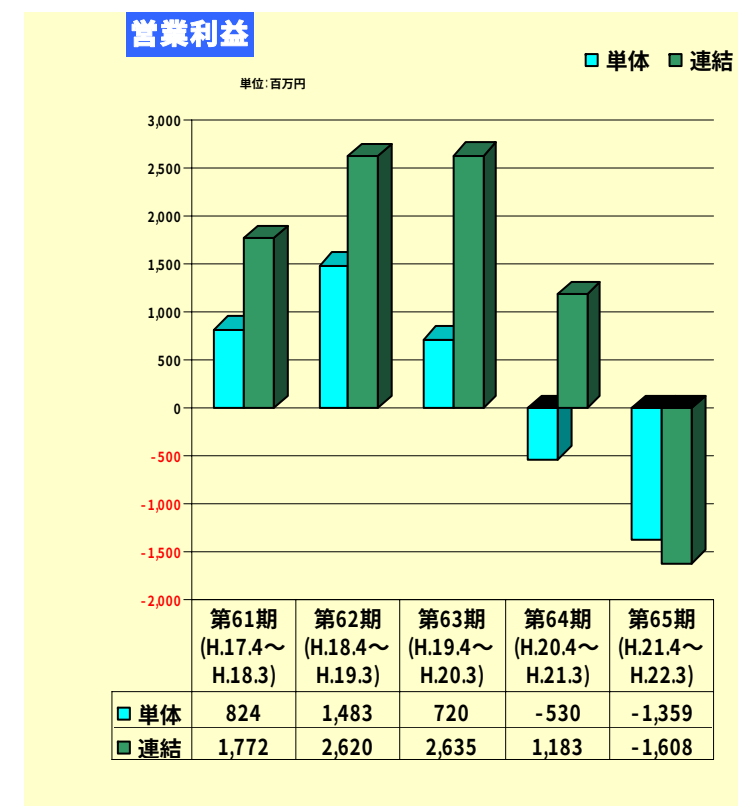
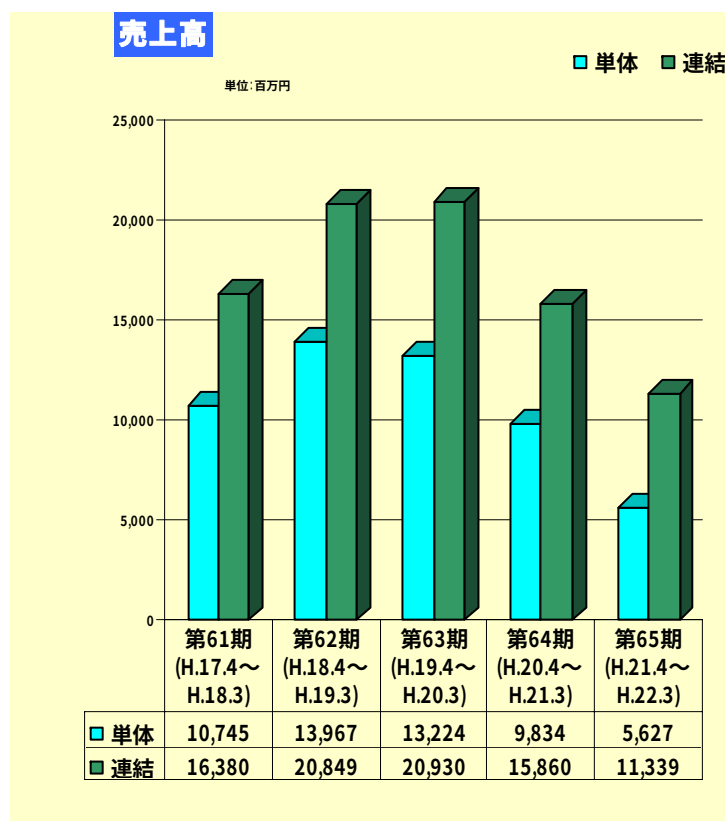
このように当社としては販売体制の強化を図り、積極的な活動を展開いたしましたが、国内外の企業の新規設備投資は乏しく、設備やソフトウェア投資も生産能力拡大のためではなく、多くは既存設備のメンテナンスにとどまっておりました。この結果、当連結会計年度の売上高は113億39百万円で、前連結会計年度に比べて28.5%の減収となりました。

また、利益面では、大幅な売上の減少、国内外での企業間競争の激化による製品価格の下落、為替相場の円高等の影響で、当連結会計年度の営業損失は16億8百万円(前連結会計年度の営業利益は11億83百万円)、当期純損失は16億77百万円(前連結会計年度の当期純利益の1億46百万円)となりました。

平成23年3月期(平成22年4月1日から平成23年3月31日)の経済環境は、回復基調のもっとも早い、アジア諸国向け輸出が増加し、輸出拡大の恩恵が内需にも波及して緩やかな回復局面に入っていくと予想されますが、金融政策の転換による景気の腰折れや、急激な金融市場の変動、原油等資源価格の上昇などの景気下振れリスクを抱えて、経営環境は当面厳しい状況が続くと思われます。

当社グループは、プリンタの開発・生産・販売など多岐わたる戦略の見直しを行ない、価格競争力のある製品を市場に提供して、売上の拡大に努めてまいります。

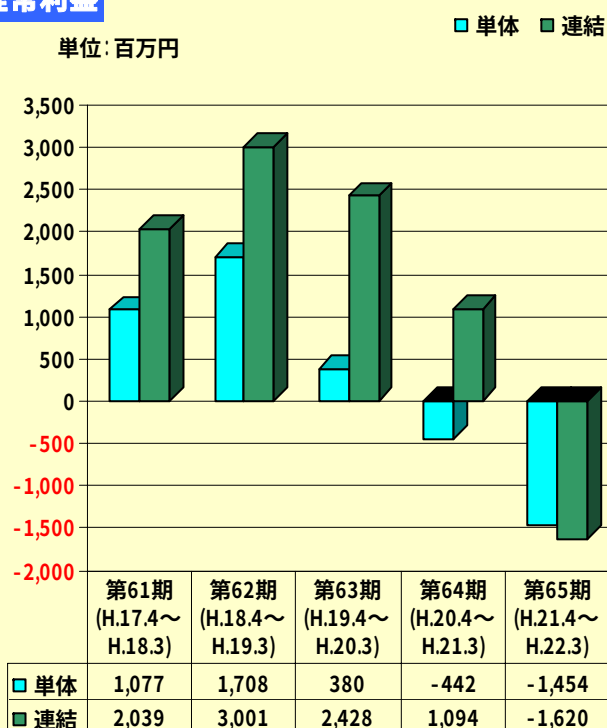
業績推移(単体／連結)



業績推移(単体／連結)

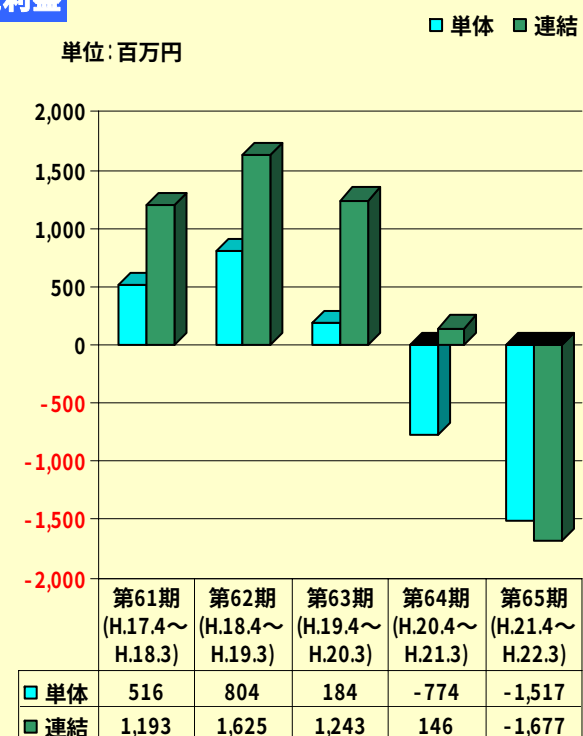
経常利益

単位:百万円

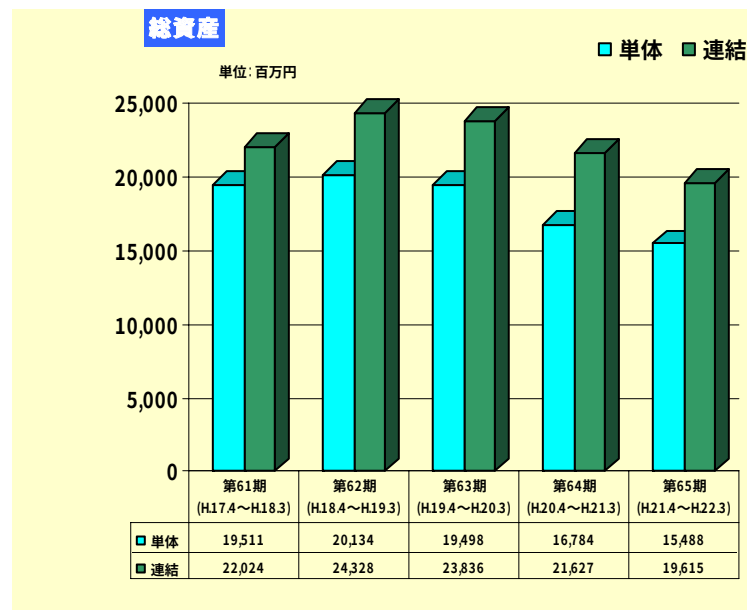


純利益

単位:百万円



財 政 状 態 推 移 (単体／連結)



会 社 概 要

社 名 桂川電機株式会社
本 社 東京都大田区矢口1-5-1
実質本社 東京都大田区下丸子4-21-1
代表取締役社長 渡 邊 正 禮
会社設立 1954年2月
JASDAQ 1991年9月
資本金 4,651百万円
社員数 単体260名 連結548名
(平成22年3月31日現在)

関連会社

株式会社ケイアイピー
KIP America, Inc.
KIP Europe S.A.
KIP UK Ltd.
KIP (Hong Kong) Ltd.
KIP Business Solution Korea Ltd.
桂新電機株式会社
台湾三桂股份有限公司
株式会社三桂製作所

1991 年 JASDAQ に店頭公開

1996 年 品質マネジメントシステム ISO 9002 認定取得

2003 年 品質マネジメントシステム ISO 9001・2000 認定取得

2004 年 環境マネジメントシステム ISO14001 認定取得



会 社 理 念

自然を大切にした製品づくり、そして自然と共に生きること。

それが、私たち桂川電機の創業から現在へと続く理念です。



KIP 2300 スキャナ



KIP Color 80



SMモーター

大判型高速カラープリンタ、モノクロ大判型複合機、カラスキャナー、モーター。

先端技術を駆使することを余儀なく求められるこれら技術を開発するにあたり、その根底には自然との共生理念が脈々と受け継がれております。

ご高覧ありがとうございました。

経済環境は、回復基調のもっとも早い、アジア諸国向け輸出が増加し、輸出拡大の恩恵が内需にも波及して緩やかな回復局面に入っていくと予想されますが、金融政策の転換による景気の腰折れや、急激な金融市場の変動、原油等資源価格の上昇などの景気下振れリスクを抱えて、経営環境は当面厳しい状況が続くと思われます。

当社グループは、プリンタの開発・生産・販売など多岐わたる戦略の見直しを行ない、価格競争力のある製品を市場に提供して、売上の拡大に努めてまいります。